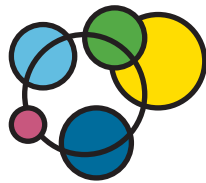


そわにえ
Soigner



第20号

「Soigner (ソワニエ)」とは、「世話をする・手当てする」という意味のフランス語です。

2010年12月20日発行

発行/東京訪問看護ステーション協議会(責任者 嶋森好子)
〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町4-17 (社)東京都看護協会内
TEL: 03-5229-1281 / FAX: 03-5229-1524
http://www.tokyohoukan-st.jp

INDEX/	チームケア推進
ぼん・くらーじゅ……………①	フォーラム報告 ……⑥
ブロック会活動報告 ……②	東京アルバム ……⑦
ステーション紹介 ……④	編集後記他 ……⑧



新しい夜明け

「訪問看護師だから
ミエルコト」

スギメディカル株式会社
看護事業開発担当部長

佐野けさ美



私は、大学病院勤務の後、会社の健康管理室又は診療所勤務を経験し、病院で療養する人から、障害や疾患を持ったまま社会で仕事をする人をみてきました。病院では17歳の白血病の患者さんが、「家族と一緒に畳の部屋で最後を迎えたい。」と希望され個室病棟の一室に畳を運び、お父さんお母さんと生活しながら終末期を送りました。また、会社の診療所や健康管理室では、糖尿病や腎不全の患者さんの家を訪問し、食事指導や生活指導を行うことができました。そこでの経験は衝撃的でした。清潔や不潔、睡眠、食事、排泄など基本的欲求に対する様々な理解があり、自分の価値観では理解できないことも……。

病院のように見ず知らずの外来患者ではなく、一緒に働いている仲間の家に訪問した場合、価値観の相違は療養の質を左右することを理解していただくために、指導するの

ではなく、一緒に考え対象が自らを変えられることができる状態を整えることだと考えました。「看護は家にあり」と思い、訪問看護ステーションを立ち上げました。

Bon Courage

ぼん・くらーじゅ

およそ10年が経過し、「看護を一般の人に知ってもらいたい」「看護の価値を看護師だけのものにするのではもったいない!」と思うようになり、現在の仕事に就きました。訪問看護師は私が経験したようなそれぞれの家庭を訪問し、「衝撃!？」を受け、自分の価値観との相違に苦しみ、利用者が元気であればもっとその人の望みは叶えることができるのに……と、どうしたらよいか苦悩し、最終的には寄り添い、その人を受け入れ、自己効力感を高めるよう働きかけることが一番の看護であると思い、日々利用者を見守っているのだと思います。

これが「人間関係の構築」というのでしょうか、在宅療養者に対してポジティブに働きかけることができるのは「訪問看護師ならでは」だと思います。このことはあまり「知的財産」として知られていませんが、一般の生活者にとって重要な「自らの健康に係る看護知識」だと考えます。

今後は、これらの看護の知識を広く一般に広め、専門的な要素はさらに磨き上げエキスパートになることが今後の訪問看護師の未来だと考えています。

各ブロックにアンケートを実施し、活動状況や来年に向けての抱負などを伺いました。



一覧表にしましたので、各ブロックの特徴が把握できると思います。また、ブロック会では講演会や研修会など、様々な企画を練っていますので、積極的に参加しましょう。

ブロック・記入担当者	地域の特徴	活動状況
1 中央区医師会 STあかし 木村紀子	東京タワーとスカイツリーが見える坂の多い所です。そこに高層マンションと昔ながらの長屋が混在しています。ドラマのロケをしていることも多くロケーションは最高です。	10月20日「訪問看護師のメンタルヘルスとモチベーションの維持について」の研修をしました。
2 STるな 川島浩子 ST湯亀 森 陽子	大田区は5つの地域から成り立ち、高級住宅地の田園調布から国際空港羽田の商業地域と緑と海に囲まれています。品川区は総面積は広くありませんが、14路線40駅の充実した鉄道網もあり、住・工・商のバランスがとれています。どちらも生活しやすい地域です。	昨年より大田区では介護保険事業所職域別連絡会を発足させ、他職種連携に力を入れています。また、医療ニーズの高いショートステイの受け入れが少ないため実態調査を行っています。品川区では定例会で他職種連携を目的に交流会・勉強会を開催しています。
3 目黒医療生活協同組合 平和通りST 田口聖子	城西南ブロックは渋谷・世田谷・目黒の3区からなり、都心に比較的近い住宅地が広がる地域です。数多くのSTがあります。	まだブロック連絡会など具体的な活動はできていませんが、2月に交流を兼ねて研修会を予定しています。
4 上井草ST 加藤保子	城西ブロックは新宿・中野・杉並の3区です。大学病院や大規模病院は新宿、中野に集中しています。杉並区は中規模病院が集中しています。	第4医療圏の管理者との連携を図りました。
5 STつくしんぼ 城北公園 瀬田美和子	住宅地の中にも田畑が多く残っており、野菜の無人販売所もあります。公園も多く、夕暮れになると狸を見かけることもあります。	10月に看看連携の研修会、来年2月に家族ケア（予定）の勉強会を計画しています。
6 STはーと 木戸恵子	下町気質の土地柄に合わせ、私達の仕事っぷりも人情とキップの良さ？が魅力	「エンジェルメイク 最新版」の研修を開催します。
7 STまごころ 諏訪早苗	東京都の最も東部に位置し、川や海と接し、古くからの下町と新しく開発されたニュータウンが混在する地域です。そのため30歳の子育て世代も多く、お子さんを頼って地方から移住する高齢者も多いようです。今、話題のスカイツリーの眼下で活動しています。	10月20日に研修会を開催しました。例年、講義や講演会による研修会が続きましたので、今年度は初心に戻り、リハビリテーションの実技研修としました。来年1月頃には親睦会を予定しています。
8 ST I-Me 羽村 河崎広一	緑豊かな地域です。エリアの中心には玉川上水で知られている「多摩川」が流れています。訪問看護STが存在しない町もあり、訪問エリアは広範囲です。	ブロック連絡会を年4回行い、各連絡会ごとにテーマを決め勉強会を企画、実施しています。今年度は、マット業者によるエアマットの勉強会や在宅酸素業者によるHOTについての勉強会を行ったり、精神疾患についての講習会を訪問介護連絡会と共催で実施しました。また、保健所関連の諸会議にブロック会の代表者が出席しSTの意見を発信しています。
9 八王子医師会立 元八王子ST 城所シズ子	多摩ニュータウンも抱える緑や丘陵の多い地域です。高尾山もあり、四季を通してとても混みます。	2年前に「看護師が知っておくべき死の知識」の講演会を行いました。その後のフォローも兼ねて、大垣先生による「在宅で求められるエンゼルケアとは」の講義と実際を学びました。とても好評でした。
10 武蔵野赤十字ST 田中恭子	都心にアクセスがよく、武蔵野の自然豊かな地域で、若者の住みたい町ナンバーワンの吉祥寺もこの地域に含まれます。都立公園（井の頭公園、小金井公園、野川公園、神代植物園など）が多く、働きやすく、住みやすいエリアです。	ブロック会は年3回予定しており、6月、10月に開催しました。次回2月の予定です。また、北多摩地域の3ブロック合同研修会を9月に開催し、「エンゼルケアから見えてくる最後のケア」と題して、小林光恵先生を講師にお招きしました。
11 武蔵村山市ST 興那城節子	東京都とは思えないくらい、のんびりとした雰囲気。の地域で、畑が多く、自然がいっぱいです。	6月4日にブロック委員会、懇親会を実施しました。また、9月3日には北多摩地域のブロックと合同して、「エンゼルメイクから見えてくる最後のケア」と題した研修会を開催しました。
12 小平市医師会ST 福森明子	従来田畑率がかなり上位を占めていましたが、近年人口が増加しています。高齢化率は平均的ですが、二世帯住宅など親との同居率は都心より高くなっています。	6月15日と10月14日に管理者懇親会を開催し、保健所の保健師さんも参加しました。7月2日には、公立昭和病院において「高齢者のスキンケア」研修会を、また、9月3日には北多摩合同ブロックで「エンゼルメイク」研修会を開催しました。

ブロック会活動報告

今年力を入れたこと	2011年に向けた抱負や希望	アピールポイント
訪問看護を長く続けられるようメンタルヘルスの研修に力を入れ、離職率を下げたいと思っています。	人材が確保でき、余裕を持って仕事をし、訪問看護の醍醐味を皆で共有したいと思っています。	都心のため、駐車できる場所と訪問先が離れてしまう場合が多く、車での訪問は大変です。従って、電動自転車での訪問が中心になっています。
多くの区民の方々に訪問看護を知っていただくために区民祭りなどに参加し、広報活動を行います。また、積極的に学生を受け入れ、医療・介護の啓発活動を行います。大田区では組織化するために運営規定などを作る予定です。	大田区では事例発表会の抄録集を作成予定です。医療ニーズの高いショートステイの実態調査をもとに地域に働きかけ問題の解決につないでゆく予定です。品川区はSTの活性化を図り、エリア別に効率的なサービスを提供できるよう連携を強化していきます。	毎月の定例会はとても活気的です。スタッフ・病院関係者も参加され、自由な定例会を目指しています。
いきいきと楽しく働くための研修会を行いたいと考えています。	各区の特徴や課題はそれぞれですが、さらに交流が深められればと考えています。	会員STが少なく、まだまだST間の連携や活動に発展の余地があります。
元気で仕事ができる研修会を行いたいと思っています。	他事業所の訪問看護ステーションのスタッフ間の交流を行い、連携を図りたいと考えています。	在宅生活が安心して過ごせるステーションが多々あります。
研修の充実を図りたいと思います。	懇親会やブロック会の活動を通して、区を越えた連携を深めたいと思っています。連携についても管理者のみでなく、スタッフ間での繋がりが生まれるような活動をしていきたいと思っています。	看看連携をテーマとして毎年継続した研修を行っています。
訪問診療・ケアマネ・ヘルパーさん等と、顔の見える関係から心が通う連携を目的に、接点を多く持ち、訪問看護の内容が具体的にイメージできるようにPRしています。	チームケアの推進が言葉だけでなく、各専門職の役割を發揮できるようにし、地域医療全体のレベルアップを図りたいです。	ステーション同士の横のつながりが強く、大変たのしいエキスパートナースが揃っています。
昨年に引き続き会員数を増やすことに努力したいと思っています。今年度は18STが会員となっていますが、全体の1/3強程度の数です。実際の活動に参加機会を作ったり、PRの機会を積極的にもつことで、会への理解を深めていただけたらと思っています。	各区では各々研修会、交流会等の活動を積極的に行っているため、ブロックでの活動となると、かえって十分な活動ができていなかったと思いますので、今後は一層協力しよりよい活動をしていけるよう努力していきたいと思っています。	会員同志の交流を深め、協力しあいながら質の向上を目指していきたいと思っています。
ブロック独自で行っている基幹病院との連携のための訪問看護体験研修も4年目を迎えます。今年は体験研修後に参加医療機関とステーションとの交流会の実現を行い、より良い看看連携に繋がっていきたくと考えています。	医師、病院、他職種との連携の強化が図れるような研修、勉強会の実施を行い、また西多摩ST間全体での連携が図れるようなブロック会を開催していきたいと思っています。	広い地域で集まることが大変なので、連絡会を今年出張形式で各ST、施設をお借りして行っています。地域は広いですが各STの連携の距離が近く、強くなるように頑張っていきたいと思っています。
会員を増やすこと、研修への参加を増やすことです。	介護保険改正にむけて、STの要望をまとめていきたいと思っています。また、未加入STへの働きかけをしていきたいと思っています。	地域が広い為、ブロック会参加も偏ってしまうので、会合の場所選びが大変です。各STの連携を深めて行きたいと思っています。
会員数を増やすこと。仲間を増やし、ブロック会の活性を図ることです。	一昨年、病棟の看護師さんが退院後の患者様の様子を知り、訪問看護・在宅療養について興味を持っていただけるよう「病棟看護師への手紙」を作成しました。少しずつですが、在宅の様子を病院にフィードバックできているように思います。今後も多くのSTで活用し、訪問看護と病棟看護との架け橋になればと思っています。	大きな病院の退院調整看護師さんも参加してくださり、病院と訪問看護の連携を推進している。ブロック会、懇親会を通し、お互いになんでも相談できるブロック会を目指しています。ブロック会で作成した「病棟看護師への手紙」があります。
学生実習や医療機関からの研修受け入れを通して、訪問看護ステーションの活動を理解してもらう事に力を入れています。	地域の方々に安心して在宅療養ができるように応援していきたいと思っています。	「生き活きノート」を作成しました。これは、病院を退院される時に入院中の情報を書いていた、退院後は在宅での様子を在宅医や各サービス事業所が記入し、各々の情報を共有するノートです。再入院の際にも、そのノートから在宅生活での様子を知ることができます。
年2回の管理者懇親会を基本とし、スタッフを対象とした研修会を、来期早々には開催したいと思っています。	会員増に向けてST協議会の意義を理解してもらうため、非会員のSTスタッフが参加したいと思うような研修会を考えていきたいです。	基幹病院との連携をとって、勉強会などを開催しています。

じんさい
仁済訪問看護ステーション品川

『仁済』は『仁(ひと)しく人を済(すく)う』創業者の理念のもとに命名された社名です。仁済は東京の品川区のほぼ中央にある大井町に拠点を置き、訪問看護ステーション以外には、品川区内に在宅支援センター、居宅支援事業所、ヘルパーステーション4ヶ所、デイサービス、福祉用具、紹介業などの事業を行っており、昭和14年4月の創業以来地域に根ざし、密着した『お客様中心のお客様のためのサービス』をお客様にトータルで、サービスが届けられるようにしております。

平成16年7月に中延のヘルパーステーションの一部を間借りし、スタッフも最少人数で、小さな小さな訪問看護ステーションとして開設されました。開設当初、社長から『あなたには訪問看護という畑を準備するから、自分で耕し肥料を与え大切に作物を育て自分で収穫して、実を食べる。そんな仕事をしなさい。』、また『亀の歩みでも良いのだから一歩ずつ確実に歩を進めなさい』と言葉をかけられました。どれ程、社長の言葉に応えられているかは、まだ疑問ですが、ゆっくりと確実に歩いています。

光 んな訪問看護ステーションも、開設から7年経ち、今では本社ビル1階の日当たりの良い場所に事務所を置きました。スタッフも8名に増え、事務所内はスタッフの集まる朝

昼夕の時間帯は活気にあふれています。

事務所は駅から近く、ご近所の三つ又には、お地藏様があります。この事務所はとても日当たりがよく、角地で立地条件も最高に良いのですが、日差しが強いので、暑さ予防のため、社長がゴーヤや絹さやをグリーンカーテンとして植えてくれました。実がなったら自分達で食べる…ここは実践しています(笑)。

さて、仕事の話になりますが、仁済訪問看護ステーションは安定した高齢の方も多いのですが、末期がんの方が多くいらっしゃいます。ターミナルケアに携わるには、スタッフの協力と頑張り通す根気、体力が必要になります。そして、何よりドクター、スタッフ間の連携がどれだけ密にできるかが重要です。幸い私達が連携するドクターはフットワークも軽く患者さんにも丁寧で優しく(おまけにイケメン)、『最期は病院に帰って来ていいよ』と病院側から言われた方も、在宅看取りができています。また、メールなどを利用して連絡も迅速にできるので在宅看取りができていますのでと思います。

た くさんのケースに携わらせていただくことで、学び、人として深まり、訪問看護のエキスパートになっていけたらと考えています。

まだまだ、発展途上の仁済訪問看護ステーションですが、スタッフで力を合わせてスキルアップしながら、しっかりと一歩一歩、地域貢献の気持ちを持ちながら、お客様や関係者に評価され、愛される事業所になりたいと思います。



ステーションの外観

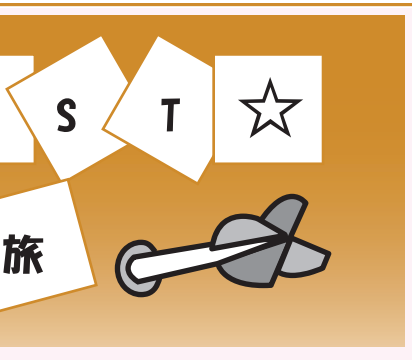
三つ又のお地藏さん



(株)仁済訪問看護ステーション品川

管理者 寺井利恵子

〒140-0014 東京都品川区大井1-32-14 HFビル1F
TEL 03-5718-1828 FAX 03-5718-1827



訪問看護ステーション青井



青和ばら公園（貴重な品種が咲き誇っています）

エんにちわ、訪問看護ステーション青井です。私達の事業所は足立区青井、介護老人保健施設「梅の木」の1階、青井診療所の隣にあります。足立区はこのところ色々な話題がありますが、青井は静かな町です。交通機関は、つくばエクスプレス青井駅から徒歩5分です。駅前通りからは、少しずつ大きくなる東京スカイツリーがよく見えます。

当ステーションは2002年4月に開設、延べ300名を越える利用者に出会い、現在の利用者は45名で介護保険が多く75%くらいです。訪問看護指示書は東大病院・都立病院など7病院、近隣の診療所や医院が19院所、ケアマネ関連は23事業所になり、法人以外との連携が主です。利用者の変化や訴えなどを各医師等に電話やFAX、創部などはメールで写真を送って連携を取り、指示変更や注意事項が記録に残るように試行錯誤しています。

訪問範囲は西新井大師辺りから亀有方面まで、自動車で環七や裏道を走っています。自転車組は片道20分くらいを訪問しています。周辺の地理は、一方通行や五叉路など複雑路があり、「ここはどこ？」を繰り返して道を覚えています。

所長の私は4代目になり、やっと11ヶ月経ちました。最初の仕事は職場用の携帯を申し入れ、全員が使いこなせるようになりました。問題発生時や合流訪問や問い合わせも同機種携帯は無料なので大活躍しています。また、全員の名刺作成、新ユニフォーム（以前は上下ピンクだったのを、上は薄緑、下はグレイ）導入で、認知症宅や近所に看護師が来ていることを知られたくないというお宅に着用しています。

スタッフは5名の看護師と事務です。「思いやりと笑顔」を忘れずに、満足していただける訪問看護を提供することを目標にしています。スタッフ間のコミュニケーションを密にして、「看護としてどうなの？」と自由に話せる関係、家族や子育ても大切にできるように、助け合い、働きやすい職場を心がけています。

私私の悩みは24時間緊急体制とターミナルケアを充実させる為に看護師を募集していますが、増員が難しい現状です。そのため今のマンパワーでは新患の受け入れが困難で、それをどう解決するかという課題があります。

母体の「梅の木」は1階に診療所、居宅介護支援事業所、デイケアがあり、地下にリハビリ室（PT、OT、ST）があります。2・3・4階が居室で、144床あります。5階は自慢の展望風呂になっています。

周辺の様子ですが、先日テレビで青井兵和通り商店街が紹介されました。朝市が有名で、新鮮な食材やお総菜などが楽しめます。春は桜、お花見スポットが19ヶ所あります。

また、異国情緒あふれる青和ばら公園は、約100種・750本の色とりどりのバラがいい香りで出迎えてくれます。北綾瀬のしょうぶ沼公園は、5つの菖蒲田があり、約100種・6,500株の花菖蒲が一面に広がる様は見応えがあります。夏は足立の花火大会が有名で、秋は各町会でお神輿やお祭りがあり、冬は東洲江公園のライトアップがきれいです。厄除けの西新井大師、スポーツができる東京武道館も近いです。

最後に、訪問看護はいろいろな分野の知識も必要ですが、体力勝負！私達が元気で話し合える関係、それがいい看護・成長につながると考えています。看護師の視点と共に、人間として触れ合い、精神的にも肉体的にも利用者と共にいきいきとした日々を過ごしていきたいと思っています。



訪問看護ステーション青井

所長 松本藤美代

〒121-0012 東京都足立区青井4-29-23

TEL 03-5888-8671 FAX 03-5888-8672

在宅高齢者チームケア推進フォーラム

訪問看護ステーション支援事業・在宅高齢者のチームケア推進フォーラムが平成22年10月2日(土)東京都庁第一庁舎5階の大会議場で行われました。178名の参加があり、訪問看護ステーション70名、地域包括支援センター14名、病院44名、学校関係2名、その他48名でした。

東京都福祉保健局高齢社会対策部介護保険課の委託を受け、チームケア推進事業として、平成21年度は「チームケア実践事例集」を作成し、地域における多職種連携の事例をまとめました。みなさん「チームケア実践事例集」をご一読

いただきましたでしょうか？

今年度は「チームケア実践事例集」を活用・普及することを目的に「在宅高齢者のチームケア推進フォーラム」を開催いたしました。「チームケアを成功させるポイント」をテーマに基調講演・シンポジウムを行いました。

シンポジウムは、宮崎和加子さんを座長に在宅医師、訪問介護サービス提供責任者、ケアマネジャー、病院連携室看護師、訪問看護師それぞれの立場から事例の紹介や提言がありました。

基調講演

「チームケアの基本から
チームケアを成功させるために」

久保川真由美氏
(茨城キリスト教大学准教授)

8 POINT

- ① 目標を一致させる
- ② 専門性を理解し認める
- ③ 情報の共有
- ④ オープンなチーム
- ⑤ 専門性を高める
- ⑥ 緊急避難
- ⑦ ネットワーク
- ⑧ 手作りのケア
～パッチワークケアからチームケア
そしてトータルケアへ～

在宅医師の立場から 松尾英男氏 (えびす英クリニック)

在宅医療ネットワークのよりよい構築は、患者・家族の希望をまわりで関わる人たちがどれだけサポートできるかということ。

その方の
意向を大切に

顔の見える
ケア

謙虚、
学ぶ姿勢

訪問介護の立場から 松本和子氏 (世田谷訪問介護青い鳥 介護福祉士)

それぞれの専門職が切れ目なく情報でつながっている事。そして、それに対する速やかな対応と返答があること。

ケアマネジャーの立場から 原 健一郎氏 (文京湯島高齢者在宅サービスセンター)

実効性のあるチームケアではその方にふさわしいチームリーダーを見極め、関係者の役割を確認しあい、その能力を最大限に発揮できる環境を作ること。これがケアマネジャーの役割では？

病院地域連携室の立場から 鈴木樹美氏 (東京大学医学部付属病院 地域医療連携部看護師長)

病院の連携室では、地域の在宅チームへ主に医療面の橋渡しをスムーズに行い、適切かつ細やかな情報交換が相互に行えることが大切。

訪問看護師の立場から 広川直美氏 (ナースステーション東京 目黒支店所長)

『良いこと』も『悪いこと』も赤裸々に情報交換でき、どのように考えているのかお互いの意見に耳を傾け、目標を随時確認しながら、手間を惜しまず、怖がらず、顔見知りになって療養者にとっての最善の策を講じること。

いつでも
にこやかに

笑顔！



フォーラムのシンポジスト
(左から) 松尾英男さん、宮崎和加子さん、
久保川真由美さん、松本和子さん、鈴木樹美さん、
広川直美さん、原 健一郎さん

シンポジウムに参加して……

福祉職からは病院や訪問看護は『敷居が高い』『相談しにくい』『怖い』という声が聞かれる。会場からも同じ看護職から自分の家族の介護を通して訪問看護師の言葉や対応の社会人としての未熟さの指摘があった。訪問看護師たちはチームの間はみな同じ立場で平等と思っているはずなのに周りからは『怖い』と思われていたんだという新たな気づきだった。『看護師の常識は世間の非常識』こんな言葉を思い起こされた。

基礎教育も専門性も違う職種が協働する地域。医療と福祉の垣根はまだあるのだろう。しかし、一人の療養者に違う職種が違う視点から互いに意見を伝えあい、情報を共有し見ていくことこそが『チームケア』であり、地域ケアの醍醐味ではないかと思った。それにしても看護師などの医療職は社会人として成長しなければいけないね。その地域で気軽に相談をしてもらえる『ほっとステーション』になれるように！

(野村訪問看護ステーション 家崎芳恵)

東京アルバム



吉祥寺は下北沢やお茶の水と並んで東京有数の「学生の街」として知られています。写真左側が、商店街「サンロード」の入口です。

東京都は23区・26市・5町・8村の区市町村から構成されています。各ブロックから寄せられた写真をまとめてみましたので、東京都のいろいろな表情をお楽しみ下さい。



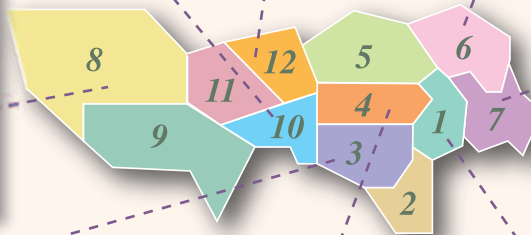
多摩湖自転車道は、5つの市を抜け多摩湖をほぼ一周する全長21.9kmの歩行者・自転車専用道路です。武蔵野の面影と歴史のロマン漂う道を訪問自転車がっ飛びます。



都電荒川線は東京で唯一残っている都電です。荒川区の三ノ輪橋駅から新宿区の早稲田駅までを結んでいます。乗車賃はバスより安い160円です。



自然豊かな奥多摩の風景です。ドライブやハイキングに最適です。ここも東京です。



東京の新たな名所となった東京スカイツリー。完成すれば電波塔としては世界一の高さになります。平成23年春、開業予定です。



若者で賑わう下北沢の商店街。狭い道路に新旧さまざまなショップが軒を並べています。「下北沢」は、現在地名としては存在しません。



新宿の高層ビル群から顔をのぞかせた青空です。「太陽にほえろ！」の舞台となつた七曲署という架空の警察署は、このあたりの設定だったようです。



六本木は、六本木ヒルズに代表されるビジネスや高級マンションのエリアですが、多くの大使館もあります。なお、東京ミッドタウンの住所は「赤坂」9丁目です。

文京学院大学大学院 経営学研究科 経営学専攻

医療マネジメントコース (夜間・土曜開講)

医療経営の専門知識を2年間で修得、修士の学位が得られます。

医療機関での経営管理の専門家を育成！

転換期を迎えた病院経営の調査研究や、医療に従事する人の経営的思考の開発などを実施し、高度な医療経営能力をもった上級管理職を養成します。

〈2011年度入試〉※I期は終了しました。

	試験日	出願期間
Ⅱ期	2011年2月5日(土)	2011年1月18日(火)～1月28日(金) 郵送必着
Ⅲ期	2011年3月5日(土)	2011年2月15日(火)～2月24日(木) 郵送必着

※社会人の方は面接および口述試験となります。また社会人特別推薦入学試験(Ⅱ期のみ)もあります。※出願資格個別審査により大学卒以外の方も受験できます。

お問い合わせ・資料請求先

文京学院大学大学院

東京都文京区向丘1-19-1(東京外口南北線「東大前」駅真上) TEL.03-5684-4870(入試担当) www.u-bunkyo.ac.jp



前回「そわにえ」に対するアンケートを行いました。ご協力くださいました会員の皆様、有難うございました。それではアンケート結果をご紹介します。

●楽しみにしているコーナー堂々1位は「ダーツの旅」、続いて「研修会報告」「座談会」「編集後記」「編集長の独り言」という結果でした。「他のステーションではどんなことをしているのかしら？」こんな声が聞こえてくるようです。「そわにえ」を通じて訪問看護の仲間がつながることができたらいいな……と思いました。

●発行回数やページ数などは「ちょうどよい」というご意見が多かったため、これまで通りに発行を継続していきたいと思っています。

●企画してもらいたいコーナーや東京訪問看護ステーション協議会に対するご意見では、この場では掲載できないほどのご意見をいただきました。皆様のご意見を大切に一つ一つ実現していきたいと思っています。「私のアイディア」が採用されることを楽しみに待っていてくださいね。

●ご意見から、まずは次号で平成24年度の診療報酬・介護報酬同時改定に向けた現場の声を聞くべく『座談会』を開催したいと思えます。「物申したい」「みんなの意見が聞きたい」という方はぜひ『座談会』にご参加ください。

★アンケートにご協力いただいた方々の中から、抽選で5か所のSTに図書カードをお送りしました。当選STの発表は発送をもってかえさせていただきます。

(野村訪問看護ステーション・家崎芳恵)



冬が到来しましたね。今年もインフルエンザが流行する兆しがあるようですので注意しなければ!!と思う今日この頃です。

そわにえVOL.20はいかがでしたか?今回は地域の情報がわかりやすくなるように、各ブロックの活動状況を写真などを中心にお届けしました。現在、地域の皆様の交流の多いステーション、少ないステーションもあると思いますが、本号をきっかけにブロックのステーションとの交流が盛んになればと思います。



さて、広報委員では次号にむけての準備を進めております。会員の皆様に参加できる広報誌制作に向けて、2つの企画を準備しました(※詳細は同封のちらしをご参照ください)。是非、ご参加、ご投稿をお待ちしております。

(東電さわやかケア中野・訪問看護 鈴木敦子)

東京訪問看護ステーション協議会は、都内で活動している訪問看護ステーションの訪問看護師たちを支援してまいります。ご入会を心よりお待ちしております。

11月30日現在の会員数
継続会員 298st 新規会員 35st 合計333st

【連絡先】〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町4-17
東京都看護協会内 TEL 03-5229-1281

時代が求める“高齢者ケア”に スポットをあてたシリーズ

高齢者ケアの常識

血圧に

異常のある患者の理解と看護

●監修
藤田英雄
(東京大学医学部附属病院循環器内科)
●著
假屋太郎
(東京大学医学部附属病院循環器内科)
石川ふみよ
(東京工科大学医療保健学部)



四六判/並製/176頁
定価2,100円(本体2,000円+税)
ISBN978-4-521-73321-0

脈拍・心電図に

異常のある患者の理解と看護

●監修
藤田英雄
(東京大学医学部附属病院循環器内科)
●著
假屋太郎
(東京大学医学部附属病院循環器内科)
石川ふみよ
(東京工科大学医療保健学部)



四六判/並製/160頁
定価2,100円(本体2,000円+税)
ISBN978-4-521-73264-0

意識障害の

ある患者の理解と看護

●著
森田敏宏
(東京大学医学部附属病院循環器内科)
堀内ふき
(茨城県立医療大学保健医療学部)
安川揚子
(札幌医科大学保健医療学部)



四六判/並製/184頁
定価2,415円(本体2,300円+税)
ISBN978-4-521-73198-8

中山書店 〒113-8666 東京都文京区白山1-25-14 フリーダイヤルTel.0120-377-883 フリーダイヤルFax.0120-381-306 <http://www.nakayamashoten.co.jp/>

衛生器具、ガーゼ、器具等の消毒に…



Milton

※効能・効果、用法・用量、使用上の注意をよく読んで正しくお使いください。

ミルトンの特徴

- 器具類・ガーゼ等にも使えます。
- 3年間の安定性が確認された製剤です。
- 有機物と接触すると塩化ナトリウムに分解します。

感染予防の資料や消毒法の詳しい情報はこちらから ➡ <http://milton.jp/nursing/>

■成分
次亜塩素酸ナトリウム1.1W/V%



ミルトンについてのご質問は

0120-093610
9:00~17:00(土・日・祝日を除く)

第2類医薬品

杏林製薬株式会社
東京都千代田区神田駿河台2-5